

令和4年4月7日

緑小だより

横浜市立緑小学校 4月号



ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

Mail : y3midori@edu.city.yokohama.jp

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

令和4年度のスタートです!!

学校長 能城 順一

令和4年度がスタートしました。今日4月7日には、142名の新1年生を入学式で迎えましたので、学級数が32学級、全校児童数は885名での令和4年度のスタートとなります。職員につきましては、副校長昇任の古田志保子主幹教諭をはじめ11名の離退任がありましたが、新たに他校から13名の職員の着任がありました。春は、別れと出会いの季節。令和3年度末に離退任となった職員は、本校を長い期間支えてきた職員が多かったため、私も大変寂しい思いの日々が続いておりましたが、4月1日に着任した職員の張り切った表情を見て、新たな緑小学校づくりがスタートするとの意を強くしたところです。

私自身についてお伝えさせていただくと、緑小学校校長として5年目、再任用校長としては2年目を迎えることとなります。再任用校長というのは、常に1年限りの契約です。私は、この令和4年度の1年間も全力で、緑小学校のため、緑小学校の子どもたちのために学校運営に臨んでいきます。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ令和4年度もお力添えをお願いいたします。

令和4年度の学校運営方針の柱も変わることはありません。「感謝の心の育成」です。「ありがとうと言える子になろう」「緑小学校をありがとうにあふれた学校にしよう」「緑小学校と言えば“ありがとうの学校”と返ってくる学校にしよう」令和4年度も、朝会の話の中で、学校行事の話の中で、学校便り「ありがとうのページ」の中で、子どもたちに伝え続けていきたいと思っております。そんな私の思いに、子どもたちが応えてくれる場面もあります。先月の18日に卒業した6年生は、卒業式当日、150名の卒業生が誰一人欠けることなく、全員で揃って式に参加して私から卒業証書を受け取ってくれました。多くの学校を記念撮影している業者の話では、新型コロナウイルス感染症がまん延している現在、「奇跡に近い」との話でした。保護者の皆様の、お子さんへの健康面への配慮のおかげと、感謝の気持ちでいっぱいとなった卒業式でした。また、卒業式の前の「6年生を送る会」では、6年生代表の児童が、私たち教職員には「先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。先生方、今までたくさんのご指導ありがとうございました。」そして、在校生には「これからも、元気いっぱいの挨拶を心がけ、いつもお世話になっている人たちへの感謝の気持ちを忘れずに過ごしてほしいと思います。」とのメッセージを残してくれました。この残してくれたメッセージを、令和4年度の新たな出発点とたく、本日の始業式で改めて全校の子どもたちに伝えるとともに、4月の「ありがとうのページ」にも掲載しております。保護者の皆様、地域の皆様も、ぜひご一読ください。

スタートをきった令和4年度ですが、依然、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の不安がなくなるわけではありません。昨年度から引き続きの制限された中での教育活動となることは仕方のないことではありますが、その中でも、このパンデミックの2年間で「失われた教育活動を工夫しながら取り戻す1年」にしたいと考えています。また、「学校と保護者の皆様の顔が見える関係を工夫しながら取り戻す1年」にもしたいと考えております。おそらく本年度も1年間の中で、感染状況の変化の波が何度か訪れてくることでしょう。教育課程の変更を余儀なくされることも想定されます。そのような時は、PTA 役員の皆様とも相談しながら、速やかな発信を心がける1年ともしてまいります。

令和2年12月に誕生した「ハピネス」は、今ではすっかり緑小学校のシンボルです。「ハピネス」の願いにもある「ありがとうにあふれた緑小学校」づくりを、本日より進めて参ります。本年度も、どうぞよろしくをお願いいたします。